

2017年度第4回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日 時：2018年（平成30年）1月24日（水）16:00～16:50

場 所：2-1701会議室（2号館17階）

出席者：98名

欠席者：58名

当日資料：資料1 2017年度リスクマネジメント 重要リスクの選定および対策計画について

【投影（最終ページのみ配付）】

資料2 共生社会実現に向けた上智大学の社会貢献

ーオリパラプロジェクト「多言語対応情報提供システム」の展開ー【投影のみ】

資料3 意見書

議 事

審議に先立ち、事務局より配付資料の確認、説明を行った。

(1) 2017年度リスクマネジメント 重要リスクの選定および対策計画について

総務担当理事より資料1（投影、一部ページのみ配付）に基づき、本学院におけるリスクマネジメント体制、選定された重要リスク項目とその対策計画について説明があった。また、今回選定した重要リスク以外のリスクについても今後検討していくとの申し添えがあった。

主な質疑は以下の通り。

- ・学生による学生に対する性的暴力の実態について調査し、その結果により啓蒙活動等を行っていく必要があると考えるが、このことについて検討しているか。
- ・災害後のBusiness Continuityについてはどのように考えているか。
- ・カルト教団からの勧誘活動（学生→学生、卒業生→学生）についてはリスクマネジメントに含まれているか。
- ・資料中に「中等教育部門は順次対策を開始」とあるが、今回高等教育部門で依頼したコンサルタント会社は中等教育部門へも対応可能な体制か。
- ・他大学における学位取り消しについて、最近報道がされている。学位授与に関するリスクについても検討しているか。

(2) 共生社会実現に向けた上智大学の社会貢献ーオリパラプロジェクト「多言語対応情報提供システム」の展開ー

初めに学長より、資料2（投影）に基づきGL2.0およびアクションプランで掲げている人材育成、学生の主体的な社会貢献活動、産官学連携等の目標を具体的に実行している例として、オリパラプロジェクト「多言語対応情報提供システム」の開発が進められているとの報告があった。本プロジェクトは学外展開に向けての開発段階に入っており、大学としてプロジェクトを支援し、推進していくことについて説明があった。

次に理工学部教授より、多言語対応情報提供システムについて、本システムの開発目的、機能および特徴、今後の学外展開の可能性について説明があった。

(3) その他

理事長より、意見書および提出期限について説明があった。

また、次回の開催日程について案内があり、詳細は追って通知することを確認した。

- ・2018年3月28日(水) 15時30分- 2-1701会議室（通常より30分早い開始となる）

以上